

I-O DATA

データ分散化ツール

e-割符V3 Pro

E-WAL/V3P

取扱説明書



B-MANU200212-02

もくじ

e-割符V3とは？	1
本書での呼び方	4
必ずお守りください	5

お使いになる前に

e-割符V3の動作環境	7
箱の中には	8
インストールする	9

使ってみる

e-割符V3を設定する(初期設定)	12
ファイルを分割する	19
エクスプローラからファイルを分割する	20
e-割符V3アイコンからファイルを分割する	22
ファイルを復元する	29
エクスプローラから元のファイルを復元する	29
e-割符V3アイコンから元のファイルを復元する	31
便利な使い方～自己復元形式割符ファイル	33
自己復元形式割符ファイルを作成する	33
自己復元形式割符ファイルから復元する	35
便利な使い方～e-割符エクスプローラ	38
e-割符エクスプローラを開始する/終了する	41
e-割符エクスプローラを使ってみる	44

ふろく

e-割符V3の削除(アンインストール)	48
困ったときには	49
お問い合わせ	53

e-割符 V3 とは？

主な機能と特徴

e-割符 V3(イーワリフブイスリー)は、ファイルデータをビット単位で分割して保存する「秘密分散」を行う事で、重要なデータの漏洩や改竄を防止する事が出来るアプリケーションです。

分割を行うと、ファイルは分割数に応じた数の「割符」ファイルに分割されます。割符ファイルから元のファイルを復元する為には、全ての割符ファイルが必要です。

また、単なるファイル分割と違って、各割符ファイルはそれ単体では意味を成さないデータしか持っていない為、もし一部の割符ファイルが第三者の手に渡った場合でも、元のファイルの内容の一部、または全体を見られる事はありません。

その為、e-割符 V3 でデータ分割を行う事で、重要データの運搬・送付時の情報流出リスクを大幅に低減させる事が出来ます。主な機能には以下のものがあります。

【ファイル／フォルダ分割】

ファイルの分割に加え、フォルダの分割にも対応しています。

【e-割符エクスペローラ】

e-割符エクスペローラは、「元のファイルの復元」「復元したファイルを開く」「復元したファイルを再分割」「復元したファイルを削除」といった一連の処理を自動的に行いますので、秘密を保持しながらも、通常のファイルのような手軽な操作性を提供します。

【自己復元形式割符ファイル】

自己復元形式の割符ファイルを作成すると、e-割符 V3 がインストールされていない環境でも、元のファイルを復元する事が出来ます。

第三者に重要データを送付する際には大変便利です。

【リカバリー形式割符ファイル】

リカバリー形式で割符ファイルを作成すると、作成された割符ファイルの内の一つが失われても、元のファイルを復元する事が出来ます。

【パスワードロック】

割符ファイルにはパスワードを設定する事が出来ます。

割符ファイルにパスワードを設定すると、その割符ファイルから元のファイルを復元する際にはパスワードの入力が必要になります。

【保存先メディアとの関連付け】

割符ファイルを作成する際に、その割符ファイルと保存先メディアの関連付けを行う事が出来ます。

これにより、作成された割符ファイルが他のメディアにコピーして持ち出される事を防ぐ事が出来ます。

主な用途

e-割符 V3 には、主に 2 つの用途があります。

- ・データ送付／運搬時の秘密保持
- ・パソコン上のデータの秘密保持

【データ送付／運搬時の秘密保持】



重要なデータが入っているファイルを誰かに渡したい場合、ファイルをそのままの形で電子メールやリムーバブルメディアに保存して送付すると、送付の途中で第三者に読み取られたり盗難に遭ったりして情報が漏洩する恐れがあります。

また、暗号化してあった場合でも、時間をかければいつか解読される恐れがあります。このような場合、e-割符 V3 を使用する事で情報漏洩の可能性を大幅に低減する事が出来ます。

重要なデータを送付する場合には、e-割符 V3 でデータを複数の割符に分割した上で、各割符を別々の方法で送付します。

各割符は、それ単体では意味を成さないデータしか持っていない為、もし一部の割符が第三者の手に渡った場合でも、元のファイルの内容の一部、または全体を見られる事はありません。

【パソコン上のデータの秘密保持】

会社、自宅で使用するパソコンでもそうですが、特に外を持ち歩くノートパソコンでは、パソコンのHDD上に重要なデータを保存している場合には、情報漏洩の危険が非常に高まります。

外出中にノートパソコンをどこかに置き忘れたり、盗難に遭ったりした場合には、重要なデータもそのまま第三者の手に渡ってしまう事になります。

このような場合、e-割符 V3 でパソコンのHDD上の重要なデータを分割し、必要な時だけ元のファイルを復元して使用するようになっておけば、万一の場合でも情報漏洩のリスクを大幅に低減する事が出来ます。

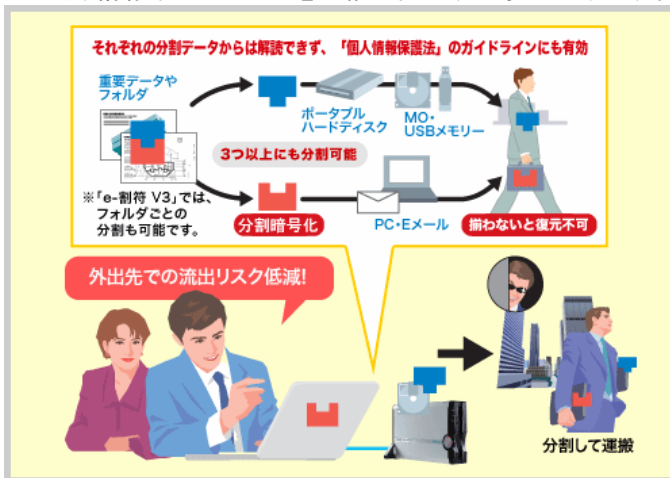
例えば、e-割符 V3 でパソコンのHDD上の重要なデータを2つに分割し、割符の片方をパソコンのHDD上に、もう片方の割符を、弊社製の「EasyDisk」のようなUSBメモリーに保存します。

これで、USBメモリーが一種の鍵のような役割を果たすようになります。

データを使用する際には、USBメモリーをパソコンに接続し、「e-割符エクスプローラ」を使用して元のデータを復元します。

「e-割符エクスプローラ」は、「元のファイルの復元」「復元したファイルを開く」「復元したファイルを再分割」「復元したファイルを削除」といった一連の処理を自動的に行いますので、秘密を保持しながらも、通常のファイルのような手軽な操作性を提供します。

外出中は、ノートパソコンはバッグに、USBメモリーはポケットに、という風に別々の場所で持ち歩くようにすれば、両方が同時に第三者の手に渡る可能性が低くなり、情報漏洩のリスクを大幅に低減する事が出来ます。



注意!

分割したファイルの確実な復元には万全を期しておりますが、万一の為に、必ずバックアップを行ってから分割を行ってください。

本書での呼び方



呼び方	意味
本ソフト、本製品、e-割符 V3	e-割符 V3 Pro
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows XP, Windows 2000の総称

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。

ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。


警告および注意

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味




この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

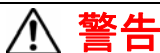
例)  「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

必ずお守りください



警告



厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。



注意



注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。



禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

破損の原因となることがあります。

- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
- 強い磁力電波の発生する物の近く
(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など)
- 水気が多い場所(台所、浴室など)
- 傾いた場所
- 腐食性ガス雰囲気中(Cl_2 、 H_2S 、 NH_3 、 SO_2 、 NO_x など)
- 静電気の影響の強い場所



禁止

以下の注意をしてください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



注意

本製品は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

お使いになる前に

e-割符 V3 の動作環境

e-割符 V3 は以下の環境でお使いになれます。

対応機種	対応 OS(日本語版)
DOS/V マシン (OADG 加盟メーカー)	Windows XP/Windows 2000

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

e-割符 V3 Pro(1枚)[CD-ROM]



Ver シール(1枚)

シリアル番号(S/N)が
記載されています。

e-割符 V3 Pro 取扱説明書(1冊)[本書]

ソフトウェア製品使用許諾条件書(1枚)



注意!

添付の CD-ROM は大切に保管してください

添付の CD-ROM を紛失した場合の対応はいたしかねます。

あらかじめご了承ください。



参考

箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

ユーザー登録やダウンロードにはシリアル番号(S/N)が必要

▼ここに本製品に添付されている Ver シールを貼ってください。



Ver シールに記載してあるシリアル番号(S/N)は、ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードの際に必要です。

- ・ユーザー登録 ⇒<http://www.iodata.jp/regist/>
- ・ダウンロード ⇒<http://www.iodata.jp/lib/>

インストールする

e-割符 V3 をパソコンにインストールします。



注意!

- ・Windows をコンピュータの管理者のアカウント (Administrator 権限) でログオンしてください。
- ・弊社 e-割符 V3、e-割符 V2 等をすでにインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから、本製品版をインストールしてください。

- 1 「e-割符V3 Pro」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
⇒自動的にCDメニューが表示されます。



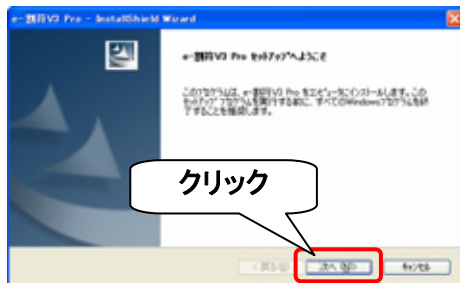
参考

自動的に CD メニューが表示されない場合は・・・
「e-割符 V3 Pro」CD-ROM 中にある[AUTORUN]アイコンをダブルクリックしてください。

- 2 [インストール]をクリックします。

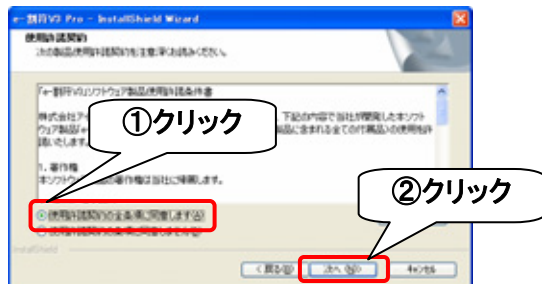


- 3 [次へ]をクリックします。



インストールする

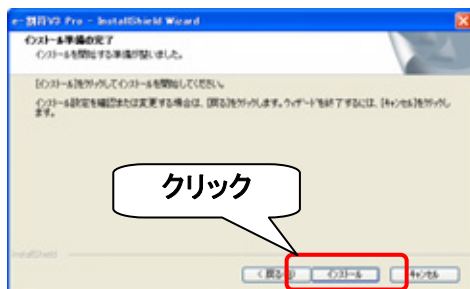
- 4** 同意する場合は、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ]をクリックします。



注意!

使用許諾契約について
上記画面は、使用許諾契約です。
本ソフトをインストールするには同意が必要です。

- 5** [インストール]をクリックします。



- 6** [完了]をクリックします。



以上で、e-割符 V3 のインストールは完了です。
次ページ【使ってみる】へお進みください。

使ってみる

e-割符 V3 を設定する(初期設定)	12
ファイルを分割する	19
エクスプローラからファイルを分割する	20
e-割符 V3 アイコンからファイルを分割する	22
ファイルを復元する	29
エクスプローラから元のファイルを復元する	29
e-割符 V3 アイコンから元のファイルを復元する	31
便利な使い方～自己復元形式割符ファイル	33
自己復元形式割符ファイルを作成する	33
自己復元形式割符ファイルから復元する	35
便利な使い方～e-割符エクスプローラ	38
e-割符エクスプローラを開始する/終了する	41
e-割符エクスプローラを使ってみる	44

e-割符 V3 を設定する(初期設定)

e-割符 V3 をお使いいただくには、最初に初期設定を行う必要があります。

1 e-割符設定ユーティリティを起動します。

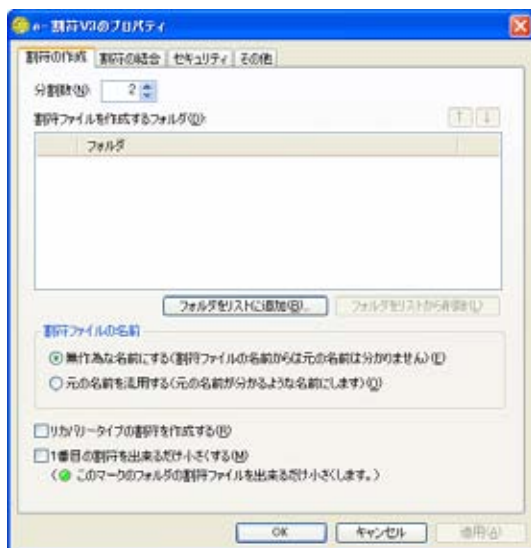
⇒デスクトップにある「e-割符V3 分割／復元」アイコンをダブルクリック、もしくは「スタート」メニューの[すべてのプログラム(プログラム)]-[I-O DATA]-[iSPIS - e-割符V3 Pro]-[e-割符V3の設定]の順にクリックし、起動します。

ダブルクリック



2 各設定をおこないます。

⇒設定の詳細は次ページ以降をご覧ください。



参考

最低、以下の3つの設定をおこなえば、e-割符 V3 をお使いいただくことができます。

- ・分割数
- ・割符ファイルを作成するフォルダ
- ・復元された元ファイルを作成するフォルダ

O「e-割符 V3 のプロパティ」画面の詳細


◎[割符の作成]タブ



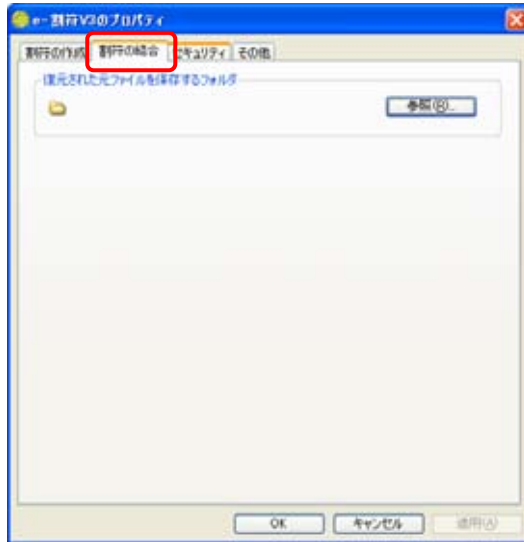
分割数	ファイル/フォルダをいくつの割符に分割するのかを指定します。 ※2 ~ 10 の範囲で設定する事が出来ます。	
割符ファイルを作成するフォルダ	ファイルを分割して作成される割符ファイルを保存するフォルダを登録します。 ※ここでは、分割時に「既定のフォルダ」として扱われるフォルダを登録します。 ※「分割数」で指定した数と同じ数のフォルダを登録する必要があります。 ※同じフォルダを複数登録する事は出来ません。	
割符ファイルの名前	作成される割符ファイルの名前付け方を指定します。	
	無作為な名前にする (割符ファイルの名前からは元の名前は分かりません)	例) 20050106151500024F6A0102 _01_03.wr3
	元の名前を流用する (元の名前が分かるような名前にします)	元ファイル名に補足情報を付加したファイル名にします。 例) 元のファイル名.doc_01_03.wr3

次ページにつづく →

e-割符 V3 を設定する(初期設定)

リカバリータイプの割符を作成する	<p>リカバリータイプの割符を作成するかどうかを指定します。 リカバリー形式で割符ファイルを作成すると、作成された割符ファイルの内の一つが失われても、元のファイルを復元する事が出来ます。</p> <p>※分割数は「3」以上を指定する必要があります。</p>
一番目の割符を出来るだけ小さくする	<p>通常、分割は「等分割」で行われますが、このオプションを設定すると、1番目の割符ファイルを出出来るだけ小さくするように分割処理が行われます。</p> <p>「1番目の割符」は、「割符ファイルを作成するフォルダ」のリストで1番上に表示されているフォルダに作成される割符ファイルの事を指します。(隣に  のマークが表示されています。)</p> <p>※割符ファイルサイズの目安は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none">・元のファイルサイズが 500KB 以上の場合は 1%以下・元のファイルサイズが 500KB 以下の場合は 約 1KB <p>(ただし、ファイルサイズが小さくなるに従って、等分割に近い割符ファイルサイズになります。)</p>

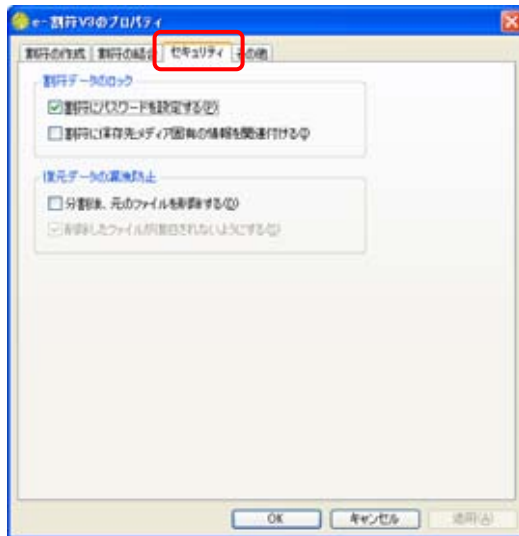
◎[割符の結合]タブ




<p>復元された元ファイルを保存するフォルダ</p>	<p>割符を結合して元のファイルを復元する際に、復元された元ファイルが保存されるフォルダを登録します。</p> <p>※元ファイルの保存先オプションは、復元時に選択する事が出来ます。ここでは、復元時に「既定のフォルダ」として扱われるフォルダを登録します。</p>
----------------------------	---

e-割符 V3 を設定する(初期設定)

◎[セキュリティ]タブ



割符にパスワードを設定する	<p>割符ファイルにパスワードを設定するかどうかを指定します。</p> <p>※パスワードは、半角のアルファベットと数字で、1 ~ 127 文字までの長さで設定する事が出来ます。</p> <p>このオプションを設定すると、分割時にパスワードを設定する事が出来るようになります。</p> <p>パスワードを設定すると、復元するには設定したパスワードの入力が必要になりますので、セキュリティの面で非常に有効です。</p>
割符に保存先メディア固有の情報を関連付ける	<p>割符ファイルに保存先メディア固有の情報を関連付けるかどうかを指定します。</p> <p>分割時に各割符ファイルにその保存先メディア固有の識別情報が関連付けられ、復元時には各割符ファイルが持つ関連付けの情報と、その割符ファイルが保存されているメディアの識別情報を比較し、一致した場合のみ復元する事が出来るようになります。</p> <p>つまり、保存先メディアと関連付けられた割符ファイルを他のメディアへコピーすると、元のファイルに復元できなくなり、更に安全性が高まります。</p> <p>※管理者権限を持つユーザーアカウントでのみ使用可能です。</p> <p>※対応メディアについては次ページ  参考 をご覧ください。</p>

分割後、元のファイルを削除する	ファイルの分割後、元のファイルを削除するかどうかを指定します。 ※分割したファイルの確実な復元には万全を期しておりますが、万一の為に、必ずバックアップを行ってから分割を行ってください。
削除したファイルが復旧されないようにする	元のファイルを削除する際に、削除したファイルがファイル復旧ソフトなどで復旧されないように、ファイルデータを完全に消去してから削除するかどうかを指定します。



参考

[割符に保存先メディア固有の情報を関連付ける]について...



作成された割符ファイルが、他のメディアにコピーして持ち出される事を防ぐ機能です。作成される割符ファイル一つ一つに、その保存先メディア固有の識別情報を関連付けます。

そして、その割符ファイルから元のファイルを復元する際に、その時点での割符ファイル保存先メディアの識別情報と照合を行い、一致しない場合には復元を許可しません。この機能に対応しているメディアは以下の通りです。

・DVD-RAM

※CPRM 対応メディアが必要。

・MO

※「メディア ID」機能対応のドライブとメディアが必要。(「メディア ID」については、51 ページ【困ったときには】内   参照)

・ネットワークドライブ

(弊社製「LANDISK」シリーズ等の LAN 接続 HDD、ネットワーク上の共有フォルダ等。)

■注意■

・対応メディア以外のメディアに保存される割符ファイルについて

割符ファイルと保存先メディアの関連付けは、割符ファイルごとに行われます。その為、この機能が有効であっても、本機能に対応していないメディアに保存される割符ファイルについては、保存先メディア固有の識別情報は関連付けられません。

例)内蔵 HDD に作成されていた割符ファイルを、ネットワークドライブへ移動して復元をおこなった場合、本機能により復元は拒否されます。

・ネットワークドライブへの関連付け

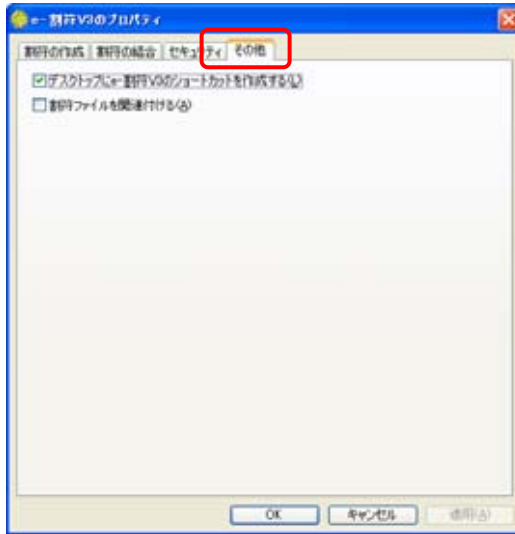
ネットワークドライブへの関連付けでは、メディアそのものではなく、ネットワーク機器に対して関連付けが行われます。

その為、LAN 接続 HDD のような機器では問題にはなりません、ネットワーク上の他のパソコンの共有フォルダ等の場合には注意が必要となります。

この場合には、関連付けは、共有フォルダを提供しているパソコンのネットワークアダプタに対して行われますので、そのパソコンのネットワークボードを交換した場合や、その共有フォルダがある HDD を他のパソコンに接続した場合等には、元のファイル/フォルダを復元する事は出来ません。

e-割符 V3 を設定する(初期設定)

◎[その他]タブ



デスクトップに e-割符 V3 のショートカットを作成する	デスクトップに e-割符 V3 のショートカットを作成するかどうかを指定します。
割符ファイルに関連付ける	割符ファイル(.wr3)に、e-割符 V3 を関連付けるかどうかを指定します。 関連付けを行うと、割符ファイルをダブルクリックする事で元のファイルの復元を開始する事が出来るようになります。

ファイルを分割する

ファイルを分割するには、次の 2 通りの方法があります。

エクスプローラなどの右クリックメニュー ⇒ 次ページ参照

e-割符 V3 アイコンヘドラッグアンドドロップ ⇒ 22 ページ参照



注意!

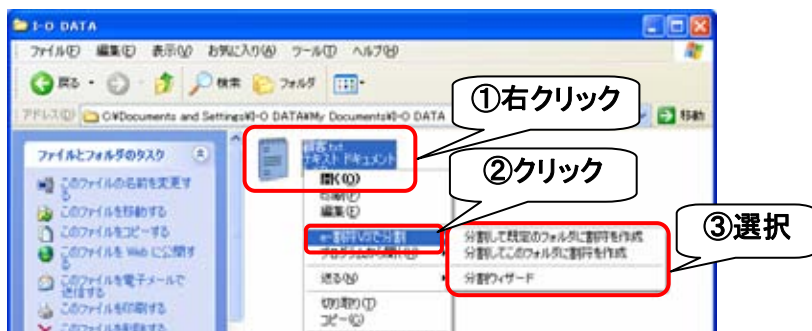
分割できないファイル/フォルダについて
以下のファイル/フォルダは分割する事が出来ません。

Windows フォルダ	Windows フォルダとそのサブフォルダ、および Windows フォルダを含むフォルダも分割出来ません。
Program Files フォルダ	Program Files フォルダとそのサブフォルダ、および Program Files フォルダを含むフォルダも分割出来ません。
割符ファイル作成先フォルダ	既定のフォルダ(13 ページ参照)は分割出来ません。
空のフォルダ	そのフォルダの中、及びその下のサブフォルダの中にもファイルが一つも無いフォルダは分割出来ません。また、分割対象フォルダの一部のサブフォルダにファイルが無かった場合には、そのサブフォルダは分割されません。
割符ファイル/フォルダ	※既定のフォルダ(13 ページ参照)以外のフォルダにある割符ファイルおよびフォルダは、割符ファイルおよびフォルダの有無にかかわらず分割することができます。
e-割符 V3 アプリケーションファイル/フォルダ	e-割符 V3 がインストールされているフォルダ、およびそのフォルダの中のファイルは分割できません。
その他	一般に、システムファイル/フォルダやそれらを含むフォルダは分割出来ません。

エクスプローラからファイルを分割する

e-割符 V3 をインストールすると、エクスプローラやマイコンピュータなどのウィンドウで、ファイルやフォルダのアイコンを右クリックすると表示されるポップアップメニューに e-割符 V3 のコマンドが追加されます。このメニューコマンドを実行することで、ファイルやフォルダの分割を行う事が出来ます。

- 1 分割したいファイルやフォルダのアイコンを右クリックします。表示されたメニューの「e-割符V3で分割」から、実行したいコマンドを選択(クリック)します。

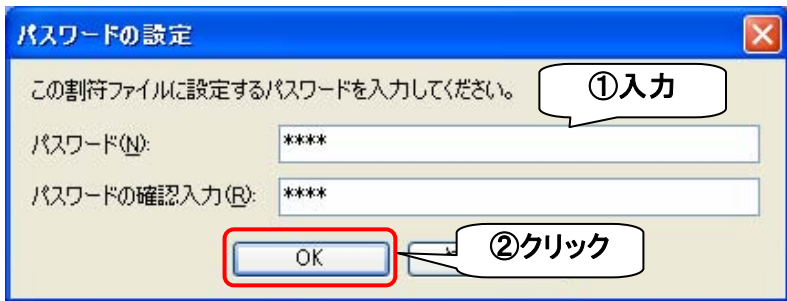


分割して既定のフォルダに割符を作成	選択されたファイルを分割し、作成された割符ファイルを既定のフォルダ(13 ページ参照)に保存します。 そのファイルを、「e-割符エクスプローラ」を使ってこのパソコン上で使いたい場合には、こちらを選択します。 (「e-割符エクスプローラ」については 38 ページ参照)
分割してこのフォルダに割符を作成	選択されたファイルを分割し、作成された割符ファイルを選択されたファイルと同じフォルダに保存します。 そのファイルを、他の場所へ送付／運搬する為に分割したい場合には、こちらを選択します。
分割ウィザード	分割数や分割先フォルダ、その他の分割オプション等を指定する為の分割ウィザードを起動します。 (分割ウィザードについては 24 ページ参照)

2 「e-割符V3のプロパティ」で「割符にパスワードを設定する」にチェックがついている場合（16ページ参照）は、パスワードを入力します。

※パスワードは、半角のアルファベットと数字で、1～127文字までの長さで設定できます。

※パスワードを設定したくない場合には、何も入力しないで「OK」をクリックしてください。

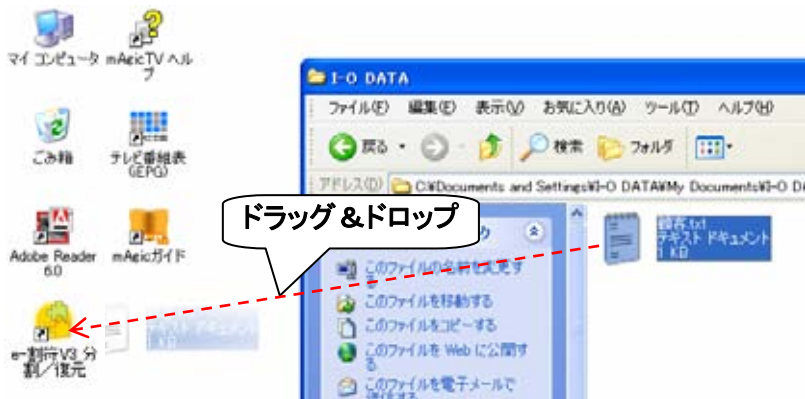


以上で「エクスプローラからファイルを分割する」は終了です。
 ファイルを復元する場合は29ページ【ファイルを復元する】へお進みください。

e-割符 V3 アイコンからファイルを分割する

e-割符 V3 をインストールすると、デスクトップに「e-割符 V3 分割／復元」アイコンが作成されます。このアイコンにファイルをドラッグアンドドロップする事で、ファイルやフォルダの分割を行う事が出来ます。

- 1 分割したいファイルやフォルダのアイコンをエクスプローラなどからドラッグし、デスクトップの「e-割符V3 分割／復元」アイコンにドロップします。



参考

ドロップ時のキー操作によって、分割方法を変更する事が出来ます。

そのままドロップ(キー操作無し)	ドロップされたファイルを分割し、作成された割符ファイルを既定のフォルダ(13 ページ参照)に保存します。 そのファイルを、「e-割符エクスプローラ」を使ってこのパソコン上で使いたい場合には、こちらを選択します。 (「e-割符エクスプローラ」については 38 ページ参照)
コントロールキーを押しながらドロップ	分割数や分割先フォルダ、その他の分割オプション等を指定する為の分割ウィザードを起動します。 (「分割ウィザード」については 24 ページ参照)



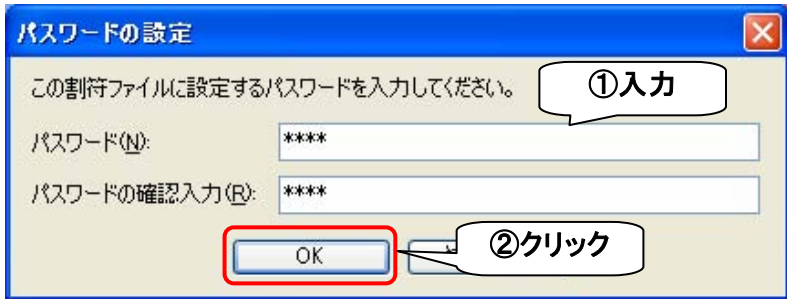
注意!

デスクトップに「e-割符 V3 分割／復元」アイコンが無い場合には、「e-割符 V3 のプロパティ」で「デスクトップに e-割符 V3 のショートカットを作成する」にチェックしてください。(18 ページ参照)

2 「e-割符V3のプロパティ」で「割符にパスワードを設定する」にチェックがついている場合（16ページ参照）は、パスワードを入力します。

※パスワードは、半角のアルファベットと数字で、1～127文字までの長さで設定できます。

※パスワードを設定したくない場合には、何も入力しないで「OK」をクリックしてください。



以上で「e-割符 V3 アイコンからファイルを分割する」は終了です。
 ファイルを復元する場合は29ページ【ファイルを復元する】へお進みください。

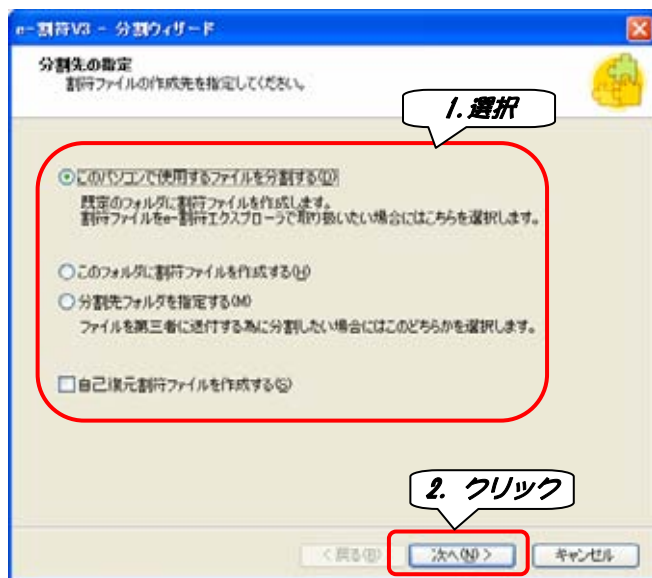


参考

分割ウィザードについて

分割ウィザードを利用してファイルを分割する手順を説明します。

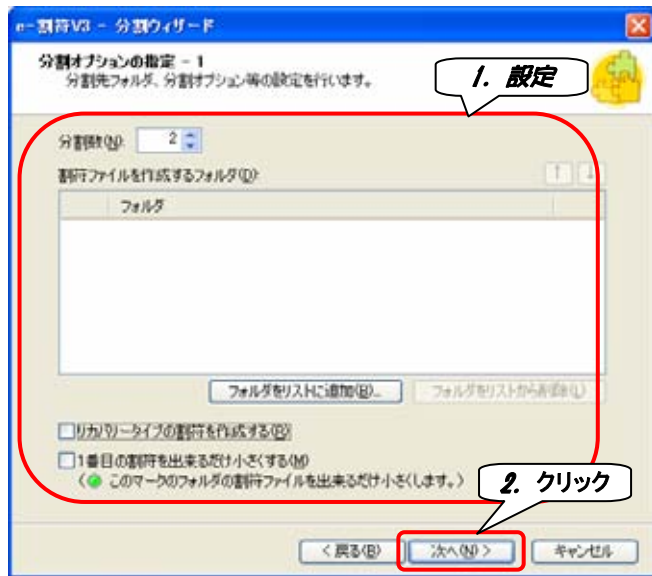
- ① 分割ウィザードを起動すると、以下のウィンドウが表示されます。割符ファイルの作成先を指定して、[次へ]ボタンをクリックします。



<p>既定のフォルダに割符ファイルを作成する</p>	<p>作成された割符ファイルを既定のフォルダ(13ページ参照)に保存します。 そのファイルを、「e-割符エクスプローラ」を使ってこのパソコン上で使いたい場合には、こちらを選択します。(「e-割符エクスプローラ」については38ページ参照)</p>
<p>このフォルダに割符ファイルを作成する</p>	<p>作成された割符ファイルを選択されたファイルと同じフォルダに保存します。 そのファイルを、他の場所へ送付／運搬する為に分割したい場合を選択します。</p>


<p>分割先フォルダを指定する</p>	<p>作成された割符ファイルが保存されるフォルダをこのウィザードで指定します。 そのファイルを、他の場所へ送付／運搬する為に分割したい場合を選択します。</p>
<p>自己復元ファイルを作成する</p>	<p>作成される割符ファイルを、自己復元形式割符ファイルにするかどうかを指定します。 自己復元形式の割符ファイルを作成すると、e-割符V3がインストールされていない環境でも、元のファイルを復元する事が出来ます。(「自己復元形式割符ファイル」については33ページ参照) ※自己復元形式割符ファイルを作成する場合は必ずパスワード設定が必要です。</p>

- ② 分割先フォルダ、分割オプション等の設定を行い、[次へ]ボタンをクリックします。

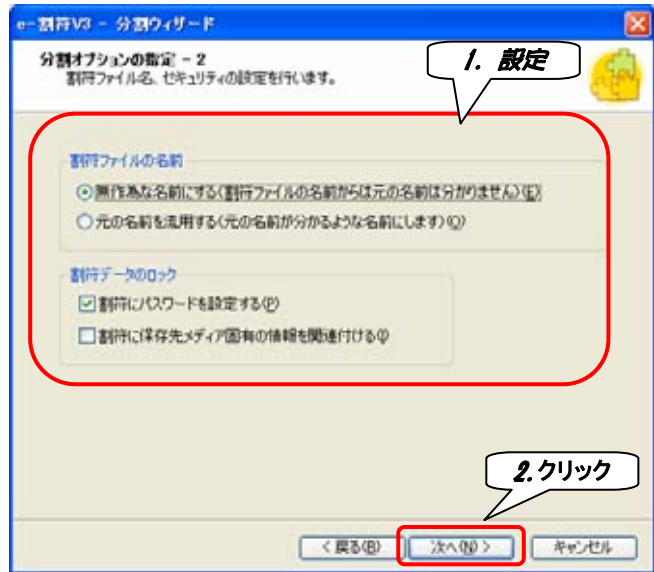


<p>分割数</p>	<p>ファイル／フォルダをいくつの割符に分割するの かを指定します。 ※2 ～ 10 の範囲で設定する事が出来ます。</p>
------------	--

ファイルを分割する

<p>割符ファイルを作成するフォルダ</p>	<p>ファイルを分割して作成される割符ファイルを保存するフォルダを登録します。 <i>※「分割数」で指定した数と同じ数のフォルダを登録する必要があります。</i> <i>※同じフォルダを複数登録する事は出来ません。</i></p>
<p>リカバリータイプの割符を作成する</p>	<p>リカバリータイプの割符を作成するかどうかを指定します。 リカバリー形式で割符ファイルを作成すると、作成された割符ファイルの内の一つが失われても、元のファイルを復元する事が出来ます。 <i>※分割数は「3」以上を指定する必要があります。</i></p>
<p>一番目の割符を出来るだけ小さくする</p>	<p>通常、分割は「等分割」で行われますが、このオプションを設定すると、1番目の割符ファイルを出るだけ小さくするように分割処理が行われます。「1番目の割符」は、「割符ファイルを作成するフォルダ」のリストで1番上に表示されているフォルダに作成される割符ファイルの事を指します。(隣に  のマークが表示されています。) <i>※割符ファイルサイズの目安は以下の通りです。</i> ・元のファイルサイズが500KB以上の場合 1%以下 ・元のファイルサイズが500KB以下の場合 約1KB (ただし、ファイルサイズが小さくなるに従って、等分割に近い割符ファイルサイズになります。)</p>

- ③ 割符ファイル名、セキュリティの設定を行い、[次へ]ボタンをクリックします。



割符ファイル の名前	作成される割符ファイルの名前付け方を指定します。	
	無造作な名前にする (割符ファイルの名前 からは元の名前は分 かりません)	例) 20050106151500024 F6A0102_01_03.wr3
	元の名前を流用する (元の名前が分かるよ うな名前にします)	元ファイル名に補足情 報を付加したファイル 名にします。 例) 元のファイル名.doc _01_03.wr3
割符にパス ワードを設定 する	割符ファイルにパスワードを設定するかどうかを指定します。このオプションを設定すると、分割時にパスワードを設定する事が出来るようになります。パスワードを設定すると、復元する際に設定したパスワードの入力が必要になりますので、セキュリティの面で非常に有効です。 ※自己復元形式割符ファイルを作成した場合は必ずパスワードを設定してください。	

ファイルを分割する



割符に保存先メディア固有の情報を関連付ける

割符ファイルに保存先メディア固有の情報を関連付けるかどうかを指定します。

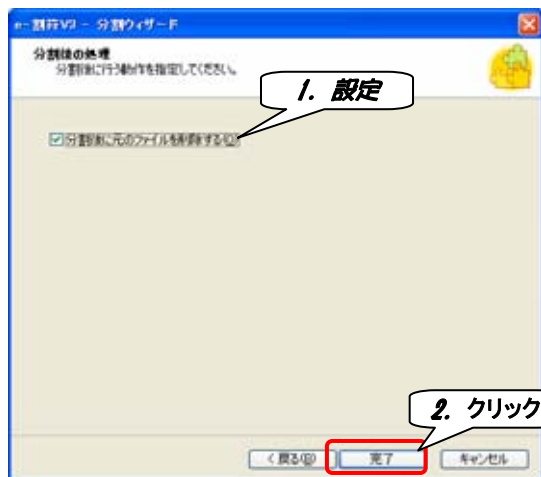
分割時に各割符ファイルにその保存先メディア固有の識別情報が関連付けられ、復元時には各割符ファイルが持つ関連付けの情報と、その割符ファイルが保存されているメディアの識別情報を比較し、一致した場合のみ復元する事が出来るようになります。

つまり、保存先メディアと関連付けられた割符ファイルは、他のメディアへコピーする事が出来なくなります。その為、単に割符ファイルをコピーされただけでは元のファイルを復元されなくなり、更に安全性が高まります。

※この機能は、管理者権限を持つユーザーアカウントでのみ使用可能です。

※対応メディアについては 17 ページ   をご覧ください。

- ④ ファイル分割後に行う動作を指定し、[完了]ボタンをクリックします。
⇒以上で、分割は終了です。



分割後に元のファイルを削除する

ファイルの分割後、元のファイルを削除するかどうかを指定します。※分割したファイルの確実な復元には万全を期しておりますが、万一の為に、必ずバックアップを行ってから分割を行ってください。

ファイルを復元する

割符ファイルから元のファイルを復元するには、次の2通りの方法があります。

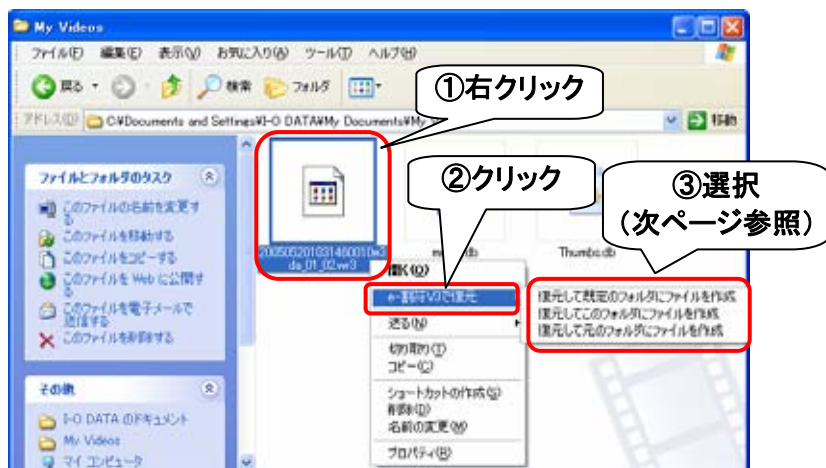
エクスプローラなどの右クリックメニュー ⇒ 下記参照

e-割符 V3 アイコンヘドラッグアンドドロップ ⇒ 31 ページ参照

エクスプローラから元のファイルを復元する

e-割符 V3 をインストールすると、エクスプローラやマイコンピュータなどのウィンドウで、ファイルやフォルダのアイコンを右クリックすると表示されるポップアップメニューにe-割符 V3 のコマンドが追加されます。このコマンドを実行する事で、元のファイルやフォルダの復元を行う事が出来ます。

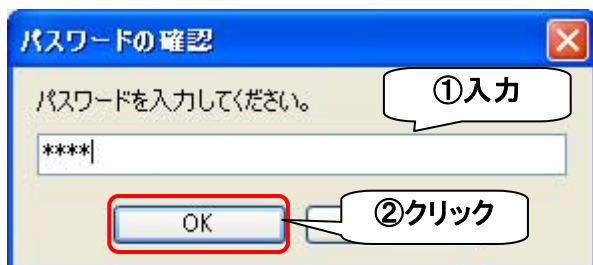
- 1 復元したいファイルやフォルダのアイコンを右クリックします。
表示されたメニューの「e-割符V3で復元」から、実行したいコマンドを選択(クリック)します。



ファイルを復元する

復元して既定のフォルダにファイルを作成	選択されたファイルを復元し、作成された元のファイルを既定のフォルダ(15 ページ参照)に保存します。
復元してこのフォルダにファイルを作成	選択されたファイルを復元し、作成された元のファイルを選択されたファイルと同じフォルダに保存します。
復元して元のフォルダにファイルを作成	選択されたファイルを復元し、作成された元のファイルを元のフォルダに保存します。

- 2** 「e-割符V3のプロパティ」で「割符にパスワードを設定する」にチェックがついている場合(16ページ参照)は、パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



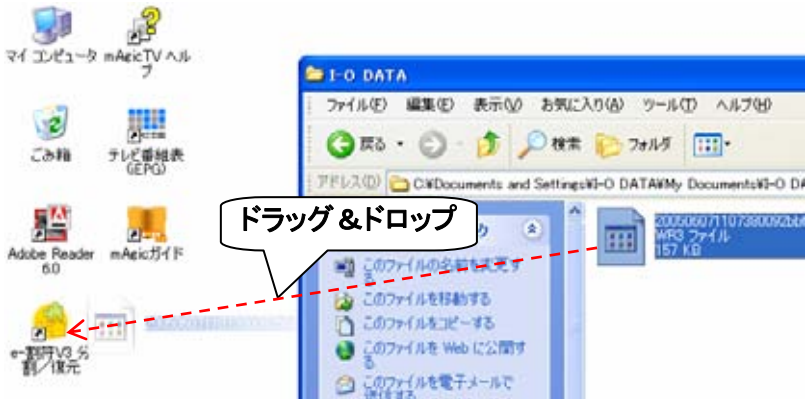
以上で「エクスプローラから元のファイルを復元する」は終了です。

e-割符 V3 アイコンから元のファイルを復元する

e-割符 V3 をインストールすると、デスクトップに「e-割符 V3 分割／復元」アイコンが作成されます。

このアイコンにファイルをドラッグアンドドロップする事で、ファイルやフォルダの復元を行う事が出来ます。

- 1 復元したいファイルやフォルダのアイコンをエクスプローラなどからドラッグし、デスクトップの「e-割符V3 分割／復元」アイコンにドロップします。

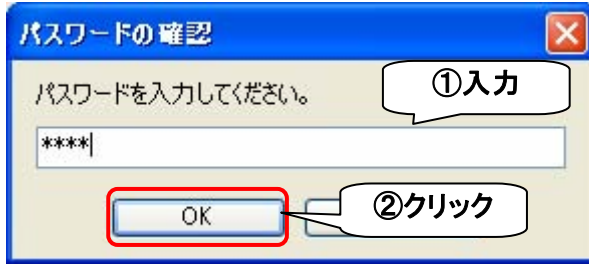


注意!

デスクトップに「e-割符 V3 分割／復元」アイコンが無い場合には、「e-割符 V3 のプロパティ」で「デスクトップに e-割符 V3 のショートカットを作成する」にチェックしてください。(18 ページ参照)

ファイルを復元する

- 2** 「e-割符V3のプロパティ」で「割符にパスワードを設定する」にチェックがついている場合(16ページ参照)は、パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



- 3** 復元されたファイルやフォルダは、既定のフォルダ(15ページ参照)に保存されます。

以上で「e-割符 V3 アイコンから元のファイルを復元する」は終了です。

便利な使い方

～自己復元形式割符ファイル

自己復元形式割符ファイルは、e-割符 V3 がインストールされていない環境でも元のファイルの復元を行う事が出来る割符ファイルです。

自己復元形式割符ファイルは実行ファイル形式になっていますので、e-割符 V3 がインストールされていない環境でも、ファイルのアイコンをダブルクリックするだけで復元を開始する事が出来ます。

その為、受け取り側が e-割符 V3 を用意する必要がありませんので、重要なファイルを第三者に送付する為に分割する際には大変便利です。

自己復元形式割符ファイルを作成する

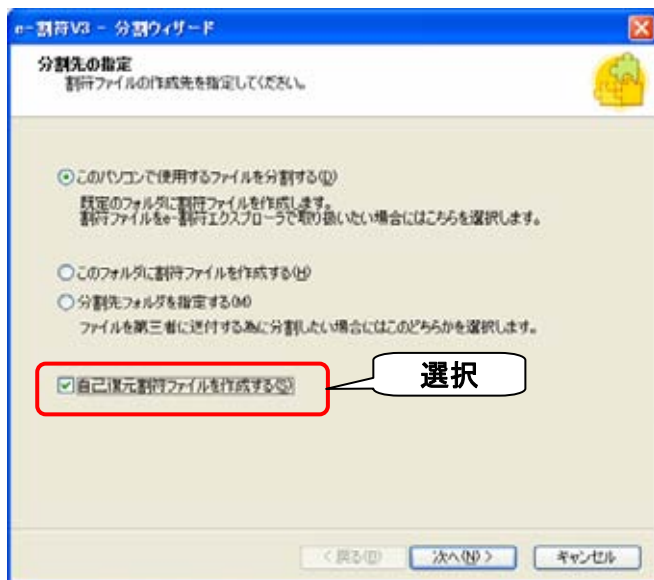
自己復元形式割符ファイルを作成する場合には、分割ウィザードを使用します。分割ウィザードの起動には以下の方法があります。

1 「分割ウィザード」を以下のいずれかの方法で起動します。

エクスプローラなどの右クリックメニューより「分割ウィザード」をクリック
※[エクスプローラからファイルを分割する]手順 1 (20 ページ)参照

ファイルを e-割符 V3 アイコンへコントロールキーを押しながらドロップ
※[e-割符 V3 アイコンからファイルを分割する]手順 1 (22 ページ)参照

2 [自己復元割符ファイルを作成する]にチェックをつけ、分割をおこないます。



以降の手順について詳しくは24ページ



参考

[分割ウィザードについて]をご覧ください。

自己復元形式割符ファイルから復元する

自己復元形式割符ファイルから元のファイルに復元します。



注意!

自己復元形式割符ファイルを使用し、復元する場合には、以下の点にご注意ください。

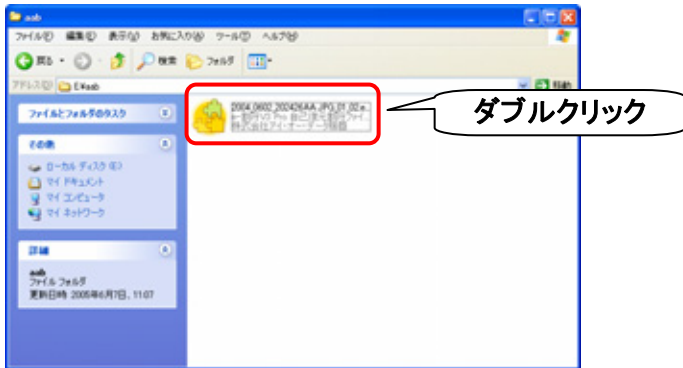
・復元を行う際には、以下の弊社製品のいずれかが接続されている必要があります。

- * USB 接続の弊社製品
- * IEEE 1394 接続の弊社製品
- * 以下の ATAPI 接続の弊社製品
DVR-ABM16C シリーズ

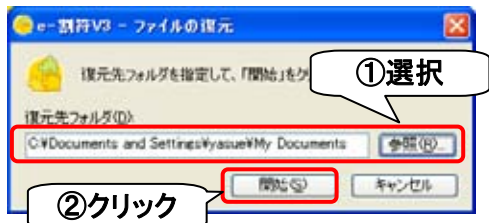
・管理者/Administrator アカウントでログオンしてください。

・復元に使用された自己復元形式割符ファイルは復元後に全て削除されるため、復元に使用する全ての自己復元形式割符ファイルは書き込み可能な状態にしてください。書き込み可能な状態ではない場合(ライトプロテクトされている等)は、復元を行うことができません。

- 1 自己復元形式の割符ファイルをダブルクリックします。
※分割時に作成された割符ファイル内の、どれでも実行できます。

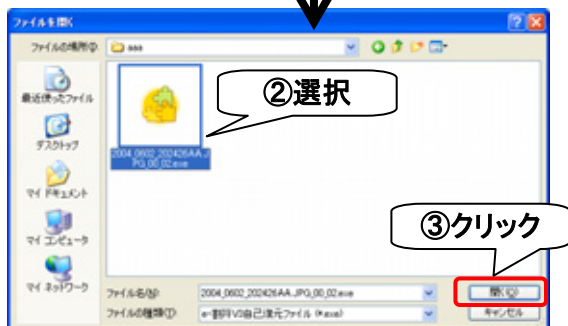
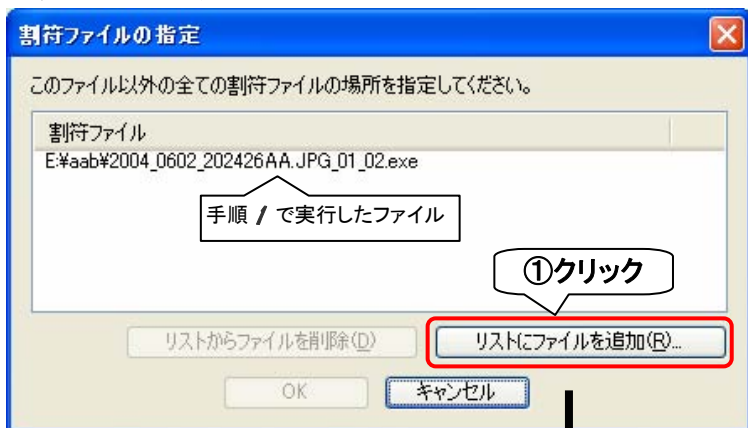


- 2 復元したファイル/フォルダの作成先フォルダを指定し、「開始」をクリックしてください。

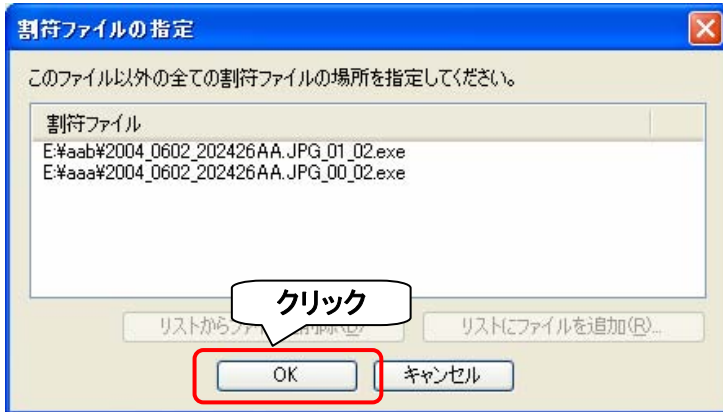


- 3** 他の割符ファイルの場所を指定します。
リストの一番上には、実行したファイル自身が表示されています。その他の割符ファイルをこのウィンドウにドラッグアンドドロップするか、「リストにファイルを追加」ボタンをクリックして場所を指定して、リストに追加してください。

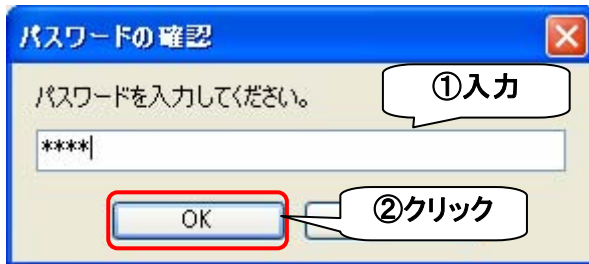
※他の割符ファイルが全て同じフォルダに揃っている場合には、このウィンドウは表示されません。



- 4** 全てのファイルをリストに追加したら、「OK」をクリックしてください。



- 5** パスワードの確認画面が表示されます。
パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。
⇒復元が開始されます。



- 6** 復元されたファイルやフォルダは、既定のフォルダ(15ページ参照)に保存されます。

便利な使い方 ～e-割符エクスプローラ

e-割符エクスプローラは、「元のファイルの復元」「復元したファイルを開く」「復元したファイルを再分割」「復元したファイルを削除」といった一連の処理を自動的にを行いますので、秘密を保持しながらも、通常のファイルのような手軽な操作性を提供します。

その為、パソコン上のデータの秘密保持を目的とする場合などに大変便利です。

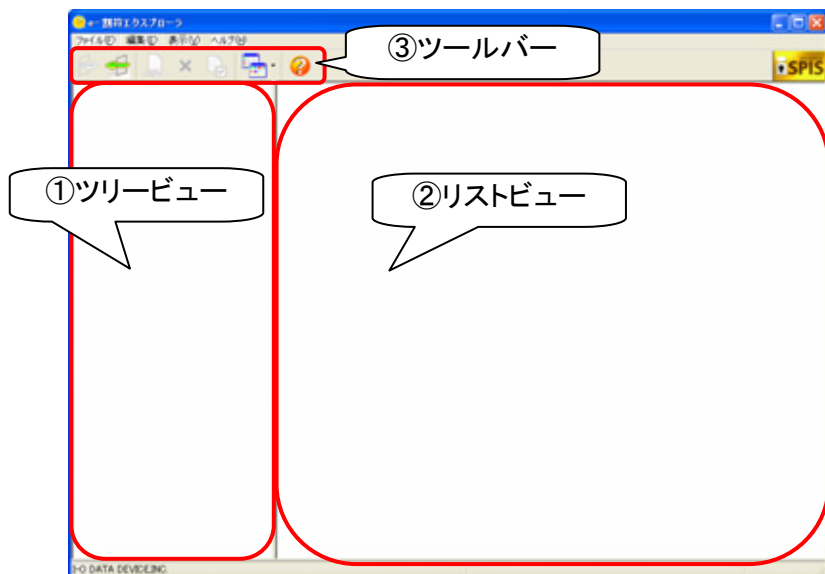


分割されている状態のアイコンをダブルクリックすると

自動的に復元してファイルを開きます。

終了すると再び分割して割符ファイルに戻します。元のファイルは自動的に削除されますので、情報漏洩の心配もありません。

○各部の名称



①ツリービュー








割符ファイル作成先フォルダに保存されている割符ファイル／フォルダが表示されます。

②リストビュー

ツリービューで現在選択されているフォルダの中のファイル／フォルダが表示されます。

③ツールバー

e-割符 V3を使用する際によく使われるコマンドがアイコンとして表示されており、アイコンをクリックする事でそのコマンドを実行する事が出来ます。現在使用出来るアイコンはカラーで、使用出来ないアイコンはグレーで表示されます。

	<p>チェックイン</p> <p>e-割符エクスプローラにチェックインします。</p>
	<p>チェックアウト</p> <p>e-割符エクスプローラからチェックアウトします。</p>
	<p>開く</p> <p>リストビューで現在選択されているファイルを開きます。この操作では、選択されたファイルの「復元」と「開く」処理を行います。</p>
	<p>削除</p> <p>ツリー／リストビューで現在選択されているファイル／フォルダを削除します。</p>
	<p>プロパティ</p> <p>ツリー／リストビューで現在選択されているファイル／フォルダの情報を表示します。</p>
	<p>表示</p> <p>リストビューの表示モードを切り替えます。</p>
	<p>ヘルプ</p> <p>e-割符 V3 のヘルプを表示します。</p>



参考

アイコンについて

ツリー／リストビューに表示されるアイコンは、そのファイル状態に応じて以下の例のように表示されます。

分割されている状態



復元されている状態



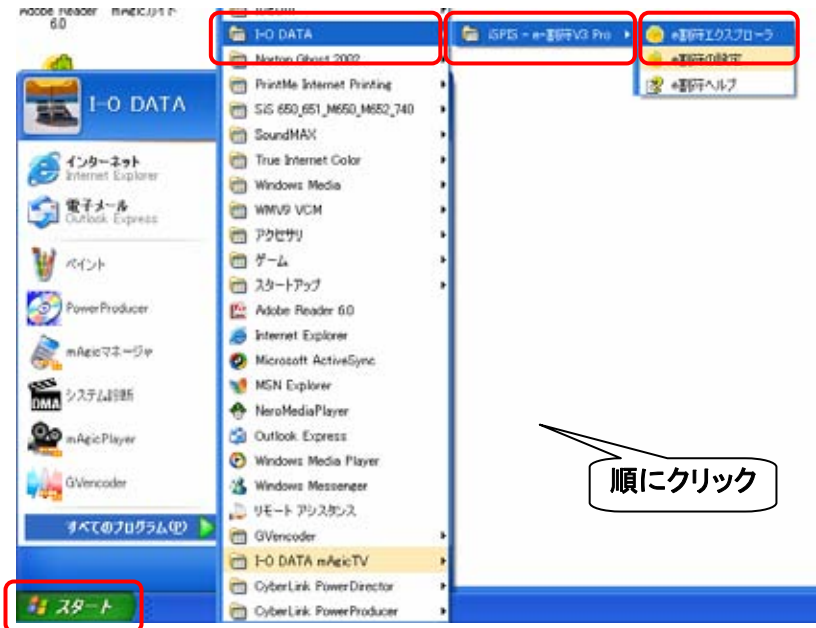
また、プログラムファイルアイコンは全て   で表示されます。

e-割符エクスプローラを開始する/終了する

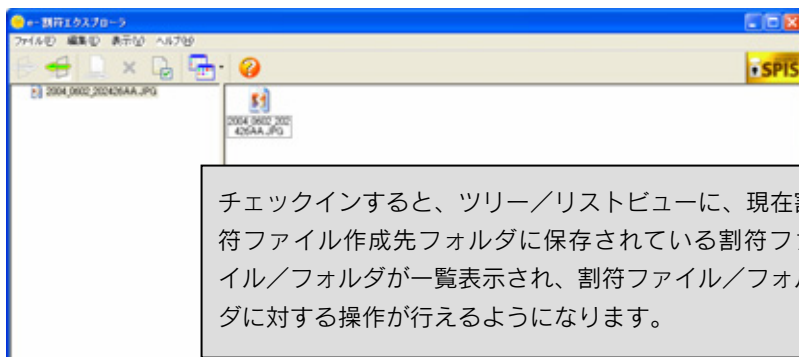
e-割符エクスプローラでは、割符ファイルの使用を開始する際には「チェックイン」、使用を終了する際には「チェックアウト」という操作が必要です。「チェックイン」するまでは、割符ファイル／フォルダに対する操作はおこなえません。

「チェックアウト」は、情報漏洩を防ぐ目的で行うもので、e-割符エクスプローラで復元したファイルを閉じて再割符化し、確実に削除します。

- 1 e-割符エクスプローラを起動します。
 [スタート]-[すべてのプログラム(プログラム)]-[I-O DATA]
 -[iSPIS - e-割符V3 Pro]-[e-割符エクスプローラ]の順にクリックします。



2 自動的にチェックインされます。



注意！

割符作成先フォルダがすべて揃っていない状態では、チェックインする事は出来ません。



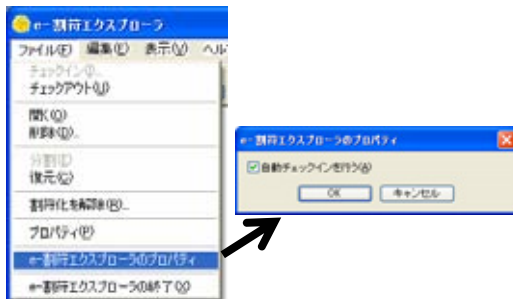
注意！

e-割符エクスプローラでは、「割符ファイルを作成するフォルダ(既定のフォルダ)」(13 ページ参照)に保存されている割符ファイル／フォルダのみが操作の対象となります。



参考


ファイルメニューの[e-割符エクスプローラのプロパティ]から自動チェックインの設定がおこなえます。



3 e-割符エクスプローラを使用します。

詳しい使用方法は44ページ[e-割符エクスプローラを使ってみる]をご覧ください。

- 4** e-割符エクスプローラの使用を終了する際にはチェックアウトをおこないます。
チェックアウトする前に、復元したファイルを使用しているアプリケーションをすべて終了させてください。

- 5** メニューの「ファイル」-「チェックアウト」を実行するか、ツールバーのをクリックします。



注意!

チェックアウトすると、e-割符エクスプローラで復元したすべての割符ファイル／フォルダが再割符化され、復元したファイル／フォルダはすべて削除されます。
その為、復元したファイルに対して行った変更は、割符ファイルにも反映されません。

e-割符エクスプローラを試してみる

e-割符エクスプローラで、ファイルを開く、復元、再分割、削除などの処理を行います。



注意!


ファイル/フォルダの復元先について

e-割符エクスプローラの既定の動作では、ファイル/フォルダを復元する際には元のフォルダに復元するようになっています。

ただし、復元先フォルダに同名のファイルが存在する場合には、既定の復元先フォルダに復元するか、そのままその場所に上書きで復元するかを選択する事が出来ます。この動作は、e-割符エクスプローラのすべての操作に共通です。

◎ファイルを開く

この操作では、選択されたファイルの「復元」と「開く」処理を行います。

- 1 リストビューで、開きたいファイルのアイコンを選択します。
- 2 開きたいアイコンをダブルクリック、もしくはメニューで[ファイル] → [開く]を実行するか、をクリックします。
- 3 ファイルが開きます。ファイルが分割されている場合には、自動的に復元を行い、復元したファイルを開きます。
※ファイルが文書ファイルの場合には、関連付けられたアプリケーションプログラムでファイルを開きます。
※ファイルがプログラムファイルの場合には、そのプログラムを実行します。

◎ファイル／フォルダを復元する

この操作では、指定された割符ファイル／フォルダからの復元のみを行います。

- 1 ツリービューで、復元したいファイル／フォルダのアイコンを選択します。

※フォルダの場合には、最上位のフォルダでなければなりません。

- 2 ファイルの右クリックメニュー、もしくは[ファイル]メニューで次のコマンドを実行します。

ファイルの場合・・・[復元]

フォルダの場合・・・[フォルダ全体を復元]

以上でファイルが復元されました。

※ファイルを開く場合は前ページ[◎ファイルを開く]参照。

◎ファイル／フォルダの割符化を解除する

この操作では、割符ファイル／フォルダから元のファイル／フォルダを復元し、割符ファイル／フォルダを削除して、再割符化の対象からも除外します。

つまり、この操作を行うと、そのファイル／フォルダはe-割符V3の管理を離れ、通常のファイル／フォルダに戻ります。

- 1 ツリービューで、割符化を解除したいファイル／フォルダのアイコンを選択します。

※フォルダの場合には、最上位のフォルダでなければなりません。


- 2 ファイルの右クリックメニュー、もしくは[ファイル]メニューで[割符化を解除]を実行します。

以上でファイル／フォルダはe-割符V3から解除され、通常のファイル／フォルダに戻りました。

◎ファイル／フォルダを削除する

この操作では、選択されたファイル／フォルダの削除を行います。

1 ツリービュー／リストビューで、削除したいファイル／フォルダのアイコンを選択します。

2 ファイルの右クリックメニュー、もしくは[ファイル]メニューで[削除]を実行するか、 をクリックします。


※選択されたファイル／フォルダが復元されている場合には、復元されたファイル／フォルダが削除されます。この場合には、再割符化の際にこの変更が割符ファイル／フォルダに反映されます。

以上でファイル／フォルダは削除されました。

◎ファイル／フォルダの情報を表示する

この操作では、選択されたファイル／フォルダについての情報を表示します。

1 ツリービュー／リストビューで、情報を表示したいファイル／フォルダのアイコンを選択します。

2 メニューで「ファイル」-「プロパティ」を実行するか、ツールバーの  をクリックします。

以上でファイル／フォルダのプロパティが表示されました。

ふろく

e-割符 V3 の削除	48
困ったときには	49

e-割符 V3 の削除(アンインストール)

インストールした e-割符 V3 の削除方法について説明します。
必要に応じてご覧ください。

- 1** [スタート]→([設定]→[コントロールパネル])の順にクリックし、
[コントロールパネル]を開きます。
- 2** ・Windows XPの場合
[プログラムの追加と削除]をクリックします。
・Windows 2000の場合
[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。
- 3** [e-割符V3 Pro]をクリックし、[変更と削除](または[変更/削除])
ボタンをクリックします。
- 4** [OK]ボタンをクリックします。
- 5** [完了]ボタンをクリックします。

以上で、インストールした e-割符 V3 の削除は完了です。

困ったときには

以下より該当する問題をご覧ください。

問 題	ページ
ファイルを分割／復元出来ない	P.50
ファイル／フォルダを分割出来ない	
空のフォルダが復元されない	
MOメディアに対して関連付けが行われない	P.51

【e-割符エクспローラ関連】

起動しても何も表示されない	P.52
チェックインしても何も表示されない	
チェックイン出来ない	
チェックアウト出来ない	

困ったときには

ファイルを分割／復元出来ない

原因	e-割符V3の設定が行われていない可能性があります。
対処	e-割符V3は、正しく初期設定を行うまではお使いいただけません。 詳しくは12ページ[e-割符V3を設定する(初期設定)]をご覧ください。

ファイル／フォルダを分割出来ない

原因	分割対象のファイルが他のアプリケーションに使用されている可能性があります。
対処	動作中の他のアプリケーションを終了させてから再度お試しください。 また、システムが使用するファイルは分割する事が出来ません。
原因	e-割符V3では、一部のフォルダは分割出来ないようになっています。
対処	詳しくは19ページ【ファイルを分割する】の[注意:分割できないファイル/フォルダについて]をご覧ください。

空のフォルダが復元されない

原因	e-割符V3では、空のフォルダは分割出来ません。
対処	フォルダを分割した際に、その中に空のサブフォルダがあった場合には、そのサブフォルダは分割されない為、復元した際にもそのサブフォルダは作成されません。 詳しくは19ページ【ファイルを分割する】の[注意:分割できないファイル/フォルダについて]をご覧ください。

MO メディアに対して関連付けが行われない

原因	「メディアID」機能対応のMOドライブおよびMOメディアではない、またはメディアID対応サポートソフトをインストールしていない可能性があります。
対処	MOメディアに対して「割符に保存先メディア固有の情報を関連付ける」機能を有効にする場合には、「メディアID」機能対応のドライブとメディアが必要となるほか、メディアID対応サポートソフトをインストールする必要があります。ファイルを違うパソコンで復元する場合には、そのパソコンにもインストールする必要があります。 メディアID対応サポートソフトは、お使いのMOドライブの製造元より入手してください。



参考

メディア ID とは・・・

MO ディスクにあらかじめ固有の番号(メディア ID)を付加し、MO ドライブにこの番号を読み取る機能を備えたネットワーク時代の MO が持つ機能です。

MO ディスクのメディア ID は書き換えや消去ができません。

メディア ID 付き MO ディスクは従来通りの使い方もできます。

従来の MO 製品とメディア ID 対応の MO 製品の組み合わせと使い方

	メディア ID 対応 MO ドライブ	従来 MO ドライブ
メディア ID 付き MO ディスク	従来通りの使用+コンテンツの保存	従来通り使用可能
従来の MO ディスク	従来通り使用可能	従来通り使用可能

■メリット■

ブロードバンド・インターネット経由で購入された音楽や映像をメディア ID 対応の MO ディスクへ保管することにより、著作権を保護したままで MO から記録・再生することができます。

これにより、お客様は、安価な記録メディアに高品質な大容量コンテンツを記録し、場所を選ばず手軽に楽しむことができます。

■ロゴマーク■

このロゴマークは MO 製品がメディア ID に対応していることを示します。



※メディア ID ロゴマーク は富士通株式会社の商標です。

困ったときには

【e-割符エクスプローラ関連】

起動しても何も表示されない

原因	e-割符エクスプローラでは、チェックインするまでは割符ファイル进行操作する事が出来ません。
対処	e-割符エクスプローラの起動時はチェックアウトした状態ですので、ウィンドウには何も表示されません。 詳しくは41ページ[e-割符エクスプローラを開始する/終了する]をご覧ください。

チェックインしても何も表示されない

原因	e-割符エクスプローラは、現在割符ファイル作成先フォルダに保存されている割符ファイル／フォルダ进行操作する為のアプリケーションですので、「割符ファイルを作成するフォルダ」に割符ファイル／フォルダが無い場合には、チェックインしても何も表示されません。
----	--

チェックイン出来ない

原因	e-割符エクスプローラでは、セキュリティの為、すべての割符ファイル作成先フォルダが揃っていない状態ではチェックイン出来ません。
対処	一部の割符ファイル作成先フォルダが、USBメモリー等の外付けの機器やネットワークドライブ等になっている場合には、それらを接続してからチェックインしてください。

チェックアウト出来ない

原因	e-割符エクスプローラで復元したファイルが、他のアプリケーションに使用されている可能性があります。
対処	動作中の他のアプリケーションを終了させてから再度お試しください。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などが紹介されていますのでご参考ください。

<http://www.iodata.jp/support/>

製品 Q & A
News など

本ソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のソフトをダウンロードしてお試しください。

<http://www.iodata.jp/lib/>

最新ソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話： 本社…**076-260-3367** 東京…**03-3254-0340**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**
インターネット： <http://www.iodata.jp/support/>

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSと本ソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

MEMO

MEMO

MEMO

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
- 3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
- 4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
- 5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
- 7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
- 8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
- 9) お客様は、本製品または、その使用权を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
- 10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
- 11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
- 13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- 「e-割符V3」は、グローバルフレンドシップ株式会社「GFI電子割符®」技術を使用しています。
- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

e-割符V3 Pro取扱説明書 2005.10.13

発行 株式会社アイ・オー・データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

Copyright © 2005 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.

本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。